九州デザインシャレット 2018 in 長崎市

○高尾忠志、柴田久、田中尚人、星野裕司、石橋知也、増山晃太、池田隆太郎
風景デザイン研究会　info@fukei-design.jp

将来まちづくりや建設分野に携わる様々な分野の学生・若手技術者を対象に、実際のまちづくりの課題に取り組む機会を提供し、専門家指導の下、**異分野との共同作業を体験させ、現代の要請に適った人材を育成する。**この体験を通じてその後も切磋琢磨しあえる仲間と出会い、その**人的ネットワークが九州、全国に広がっていく**こともこれからの九州、日本の美しい風景を守り、新たな文化価値を生むための大きな力となるはずである。また地元で進められているまちづくりの取り組みへの話題提供となることも期待できる。

シャレットとは？？仏語で「荷馬車」という意味。仏の大学生が設計課題の提出日に荷馬車に図面を積んで学校に来る様子から、短期間に集中的に行う演習を意味するようになったと言われている。

【特徴①】地域に密着した課題設定

実際に事業が動いている対象地でデザインを提案

《まち、人をつなぐ公共空間をデザインする》

近年、にぎわいづくりや居場所づくり、健康増進、地域防災力の向上等、様々な観点から、これまでの概念や制度の枠を超えて、道路、河川、公園、広場等の公共空間を積極的に利活用し、心地よい時間と多様な交流を生み出すことで、都市や地域の価値を高める取り組みが増えている。長崎市では、平成 34 年度の長崎新幹線開業効果を高め、まちなか全体の活性化を実現するために、長崎駅とまちなか（寺町・中島川地区）をつなぐ回遊動線の強化に取組んでいる。その一環として平成 34 年度オープン予定の長崎市新市庁舎前の広場と、その向かいに位置する市民会館前の魚の町公園の整備を検討している。本設計演習では、こうした背景をうけて**新市庁舎前広場・魚の町公園およびその周辺のあり方を検討し、模型等を製作して具体的なデザイン計画を提案することを課題とした。**

課題制作物：全体計画図（1/500）、対象地計画図（1/200）、提案模型（1/200）

【特徴②】実践的で多彩な講師陣

ゲスト講師

山下裕子
ひと・ネットワーククリエイター
広場ニスト

新市庁舎設計チーム

（左から）
筬島　亮　山下設計
吉村純一　プレイスメディア／多摩美術大学教授
女鹿裕介　プレイスメディア

風景デザイン研究会（風研講師）

柴田　久　福岡大学 教授
田中尚人　熊本大学 准教授
星野裕司　熊本大学 准教授
高尾忠志　九州大学 准教授　長崎市景観専門監
石橋知也　長崎大学 准教授
増山晃太　風景工房　熊本大学 研究員
池田隆太郎　福岡大学 助手

【特徴③】短期集中 / グループワーク / 合宿形式のプログラム

8/27（1 日目）

13:30~ 山下氏によるレクチャー

14:30~ 現地調査
ブレーンストーミング

18:00~ 講師によるエスキス

20:00~ 懇親会

8/28（2 日目）

9:00~ 星野氏によるレクチャー
『デザインコンセプトについて』

10:00~ コンセプトメイキング

13:30~ 柴田氏によるレクチャー
『デザインアプローチについて』

14:30~ コンセプトメイキング
デザインスタディ

18:00~ 講師によるエスキス

~20:00 コンセプトメイキング
デザインスタディ

8/29（3 日目）

9:00~ 吉村氏によるレクチャー

10:00~ デザインスタディ

17:30~ 講師によるエスキス

~20:00 デザインスタディ

8/30（4 日目）

9:00~ 講師によるエスキス

14:00~17:00 **最終講評会**／表彰式

~14:00 プレゼン準備

受講生の声

鮫島将太さん
㈱東京建設コンサルタント

デザインのプロセス、何をみれば良いのかを学べました。
また、自分たちのコンセプトに沿ったアドバイスやアイデアを講師の方々にいただけた事が良かったです。
シャレットに参加できたことで、**景観の仕事に携わっていく気力、夢のようなものを取り戻すことができました。**

田中　咲さん
法政大学大学院

初対面の他大学の方と社会人の方と取り組めたこと、講師の方の講義やエスキスを受けられたこと、デザインを考える際のプロセスを学べたこと、**土地勘のなかった地域の読み解き方に触れられたこと、朝型だったこと、短い時間で自分たちの考えを伝える訓練になったこと**、良いことがばかりでした！
スタッフの皆さんも優しかった！

板部奈津希さん
㈱協和コンサルタンツ

月曜日に初めてあったのに、ずっと一緒に頑張ってきた同期のような気がしています。**最高の仲間ができたことが何よりも嬉しい。**
みんなで案をまとめていったり、模型を作ってあーでもない
こーでもない、やべー！やべー！と大騒ぎしながらデザインして、
いろんな気持ちに満ち満ちています。すごく楽しかった！！！

赤山紗也果さん
長崎大学

とても充実した４日間になりました。チームでの活動も毎日学ぶことが多く、刺激を受けました。自分の実力不足や知識不足も改めて感じたので、**今後のモチベーションにつながる機会となりました。**学外でのランドスケープ系の活動に参加することに少し緊張していましたが、参加して良かったと感じています。

山下大貴さん
九州建設コンサルタント㈱

社会人枠として、そして、自分が参加することでしか与えられない価値を発揮することができず、悔しさがあったが、**飲み込めないくらい気づき、学びを、こんなに短期間に得られ、夢だったのかと思うような４日間だった。**

大田菜央さん
愛媛大学大学院

限られた時間の中で、どうにかして１つのものを生み出すということを体験できた。**また、たくさん出る意見の中で、何を捨てていくか、という判断の難しさを経験できた。**
とてつもなく濃い４日間でした！！！たくさん宿題ができたので、持ち帰って今後も引き続き勉強していこうと思います。

内野絢香さん
有明工業高等専門学校

対象地の調査をするだけでもいろいろな視点があり、１人では気づけない点を多く吸収できました。限られた時間で、どうアウトプットしていくのか、させなければならないのかということを考えさせられたし、**グループ内での深い意識共有の大切さを学びました。**

秋山実都紀さん
徳島大学

私はあまり知識のない状態で参加していたので、多くのことが学べました。特に、ランドスケープの見方や模型の作り方、議論する時に各個人が注目する点が今後の自分の活動に生かしていけると感じました。

光野育恵さん
熊本大学大学院

グループワークの進め方を学べたことが良かった。
すごく仲良くなれたけど、良い意味でゆずり合う、引き立てあえるというチームビルディングには時間がかかってしまいました。
この失敗体験、そしてその中で自分に何ができるか考えることができたのは、とても良い経験になりました。

河北咲良さん
京都大学大学院

技術の面はもちろんですが、**チームをまとめる力や、人に自分の思いを正確に伝える力をつけないといけないなと思いました。**

最終講評会

初学者でもここまでできた！！

評価の視点は以下の４つ

◇ **都市における広場のあり方**
長崎のまちにおける対象広場の役割がよく考察されていて、それに対応した空間デザインや運営イメージが提案されているか

◇ **提案の新規性、独創性**
公共空間の現状を打破するような新しい、チャレンジングな提案がされているか

◇ **デザインの地域性、魅力**
長崎のまちにふさわしい魅力的なデザインが提案されているか

◇ **プレゼンテーションの質**
時間内に、わかりやすく、自分たちの提案を伝えることができたか。計画図や模型がわかりやすくつくられているか

※最終講評会は講師に加え、長崎市役所職員にも参加いただきました

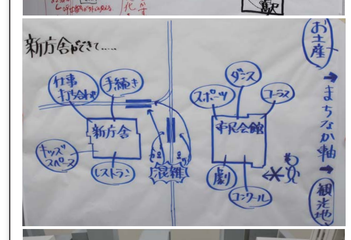
コンセプト～プランニング～デザイン～プレゼンの基礎を体系的に習得！
地域に対して新しい知見を与えた！

コンセプト

成果物	読み解き
	方針
	デザイン
	班員

各班成果 一部紹介 凡例

A 班「はみださんば」



・動線調査の結果、まちなか軸は人通りが多い
・新庁舎や市民会館では様々な利用者が存在
・広場を通過する人は多いが、広場自体には少ない
・まちなか軸と広場を結ぶ動線の見通しが悪い

対象地の長崎らしさ → 今ある市民の活動
①新庁舎 ②市民会館 ③まちなか軸　（三場）
各機能のはみだし　※「はみださんば」は「はみださないと」の長崎弁
⇒同じ場所で色々な行動をする人が重なることで新たな価値がうまれないか

○市役所の手続き待ちや食事、ワークショップ等の活動をはみださせるよう意図したデザイン
○レンガ（ピンク）の所はくんちや室内で行われているダンス等の練習場所に。動線とバス待ちを結んだ位置につくることで、はみだしを重ねる
○市民会館南側通りを一方通行にし歩道を拡幅。チャレンジショップや植栽を配置し、まちなか軸の文脈を踏襲し、広場へ人を自然に引き込む

鈴木日奈子（長崎大学 ランドスケープ・アーキテクチャア・デザイン研究室）
田中　咲（法政大学大学院 都市環境デザイン工学専攻景観研究室）
原田大史（九州大学大学院 都市環境システム工学専攻景観研究室）
松野祐太（東京大学大学院 社会基盤工学専攻地域／情報研究室）
仲摩純吾（株式会社オリエンタルコンサルタンツ 九州支店技術一部）
福島　望（サンコーコンサルタント株式会社 九州支社技術部土木第一課）

B 班「軸とワンド（湾処）」

風研講師賞

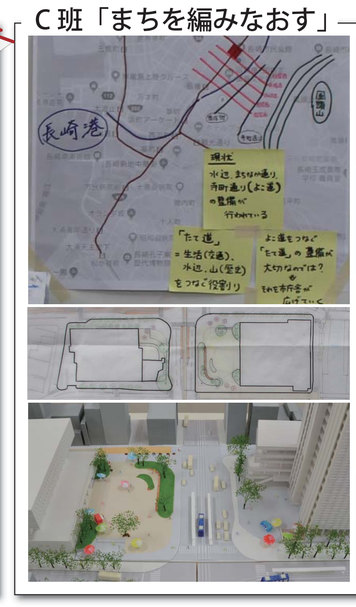
新市庁舎北側の通りについて
・東西の視線がきれいに抜けて山が見える
・電鉄が走り、人や車の多い通りである
・通りの東側にある寺町・中島川地区には観光客の訪れる商店街や眼鏡橋がある

新市庁舎北側の通りを大切にしたい軸として設定
＆広場を一体としたワンド
→軸の流れの受け皿となるたまりの場所に
→滞在時間の異なる人を想定した空間とする
様々な行為をする人が常にいる風景の創出と
新市庁舎北側の軸の強化

○電鉄の停留所を南側交差点まで延長し、屋根を設けゆったり休める空間に。さらに２つに分かれている今の電停を１つにまとめ、壁をなくす
○開けた場にするため段差を意識した設計。車道からフラットに繋げ、一体的な利用を可能に
○ワンドの最も窪んだ部分はゆっくりとした時間が流れるよう、木々が生い茂っている静かな空間

内野絢香（有明工業高等専門学校 建築学専攻）
狩野莉子（早稲田大学 創造理工学部社会環境工学科）
筒井正幸（長崎大学大学院 工学研究科環境計画研究室）
光野育恵（熊本大学大学院 土木建築学専攻景観デザイン研究室）
板部奈津希（株式会社協和コンサルタンツ 東北支社都市整備部計画グループ）
鮫島将太（株式会社東京建設コンサルタント 九州支社）

C 班「まちを編みなおす」



・山や海に囲まれている円形劇場型の地形
・対象地周辺には南北に延びる主要な４つの軸が存在（交通、水辺、商店街、神社のある通り）
・一方で上記４つの軸をつなぐ東西の道は歩いてみたいというつくりになっていない

縦（南北）の糸に対して横（東西）の糸を編みなおすことで、生活・歴史・自然を繋げていく
まち全体を歩いてまわる、寄り道をするといった豊かな時間が生まれないか

○北側交差点を市民会館側へ渡った人を受け止めることのできるロングベンチの設置。ここから市民会館南側に導くような配置とデザイン
○まちなかにある花壇（プランター）を連続させることで歩いてみたくなる仕掛け
○道の両端（広場南北側）にも人が溜まる空間をつくり（キッチンカーやパラソル、時計台など）他の軸からもこの広場に行きたくなるようにする

赤山紗也果（長崎大学 ランドスケープ・アーキテクチャア・デザイン研究室）
秋山実都紀（徳島大学 理工学部社会基盤デザインコース）
大石銀司（九州大学大学院 都市環境システム工学専攻流域システム工学研究室）
谷水　錬（東京大学大学院 社会基盤工学専攻景観研究室）
金城　樹（沖縄県 土木建築部都市計画・モノレール課景観形成班）
前田　夢（日本工営株式会社交通都市事業部都市交通計画部）

D 班「まちの中継点」

新市庁舎設計チーム賞　山下裕子賞

対象地は「まち・ひと・とき」の３つの間を取り持つ
・陸と海の玄関口から来た人や公共交通が重なる、また観光地である寺町・中島川につなぐ中継点
・観光客と住民、住民と住民、多世代をつなぐ中継点
・対象地はくんちの広場であったこと、町屋があったことから「ハレとケ」「歴史」をつなぐ中継点

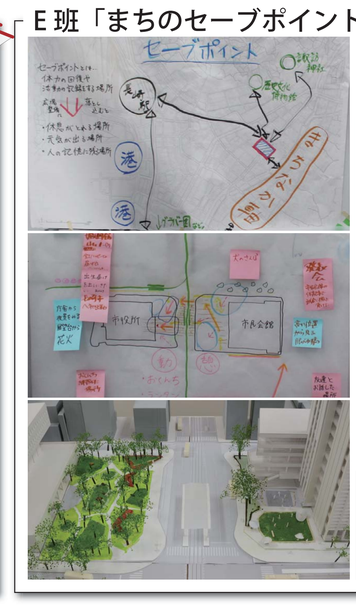
地元の人にとって憩いの場に、そして見る見られる関係を生み、子供も安心して遊べる場に
観光地としてここが拠点となることで寺町・中島川への中継点となると共に、長崎全体の観光の起点に

○観光のためのみんなで書き込んで作る掲示板、町屋をモチーフとした出張仮設店舗、貸し出し用電動スクーターを設置
○既存樹木と動線を考慮したロングベンチの曲線。さらにバス待ちや休憩での利用、子どもが高低差を駆け回るようにベンチならびにその周辺をデザイン。地下駐車場からの出口も設ける

諫山裕生（福岡大学大学院 建設工学専攻景観まちづくり研究室）
河北咲良（京都大学大学院 社会基盤工学専攻景観設計学研究室）
河野祐子（千葉工業大学大学院 建築都市環境学専攻遠藤研究室）
辻　左介（佐賀大学 経済学部経済学科戸田ゼミナール）
梶川遥奈（中央復建コンサルタンツ株式会社）
山下大貴（九州建設コンサルタント株式会社 南九州支店）

E 班「まちのセーブポイント」

長崎市役所賞



・まちなか軸に近く、長崎駅からまちなか軸の中間点
・バスの停留所もあり結節点でもある
・市民はここに公会堂があったことを記憶している

セーブポイント
体力の回復の面では休息がとれ、元気が出る場所
活動の記録の面では人の記憶に残るような場所
道路を挟んだ２つの広場をそれぞれ静と動に
→市民会館側は現在の建物内における活動内容や中島川があることを踏まえ自然豊かな静的な広場に
→新庁舎側はくんちの練習やイベントをしやすいこと、人通りが多くなることを想定し動的な広場に

○市民会館側は現在の緑豊かな樹木を活用し、森の中にいるような空間。動線を考えた通路や木々の間から見える向こう側のわくわく感を創出
○新庁舎側は子どもが走り回る、イベント実施、マルシェの開催、観光案内を行う等、一体的な利用を目指した広場

池田昌弘（熊本大学 工学部社会環境工学科）
大田菜央（愛媛大学大学院 生産環境工学専攻都市・地域デザイン研究室）
大森真央（日本大学大学院 土木工学専攻永村研究室）
佐藤麻美（京都造形芸術大学 ランドスケープデザインコース）
近藤美沙希（大日本コンサルタント株式会社 中部支社地域環境計画室）
長池太郎（株式会社建友社設計 設計部）